

大阪府保育士会だより

ほほえみ

平成19年5月15日

号外

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪府中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001

新会長に大西潤子さん



“これからもよろしく” 名誉会長に武内茂子さん

歴史ある保育士会、伝統を守りつつ、みんなで開けよう未来への扉



大阪府保育士会50周年に向って…



大西潤子会長

葉桜がそのうつろいを癒すようにやさしい緑をふくらませていきます。

保育士会の皆様には、お健やかに日々ご精進のこととお慶び申しあげます。

先日19日、大阪府保育士会総会で、三役をはじめ各市より推挙されました常任委員等の新役員が承認され、このたび、22年にわたり会長職を務められました武内先生がご勇退されましたことを受け新たに会長を拝命いたしました大西でございます。

武内会長は、全国を舞台にご活躍になり、保育士の国家資格化、全国保育士会倫理綱領の策定などに尽力され、多くの功績を残されました。

名誉会長、相談役としてご指導いただきます。

新しく常任委員になられた方々と心一つにして、保育士会を力強く運営して参ります。

研修委員会では、一人ひとりの持てる力を存分に発揮し、親しみやすい、保育士のニーズに合った研修の企画かつ、専門職としての

小鳥が枝で歌い、緑の風が心地よい季を迎え、日々の営みを心から喜ばしく感じられる時を迎えています。顧みますと、昭和の世の終わりから平成へと変り、すでに18年間も過ぎている時の移りかえりを見てみると、20有余年もの間、大切な大阪府保育士会々長の座をいただき、重責を預り過ぎたことを夢のように感じる月日の流れです。

年ごとに経た事業の数々も皆様の意識の高揚とともに多数の御参会を得て、研修成果を見ることができました。これもひとえに部長、各園の園長先生方のお支えがあり、後押ししていただきたながら活動できる環境があつたこと、各園負担金の拠出いただき資質向上と保育士の位置づけ向上へ

あり方、方法論を深めます。広報委員会では、全国保育士会の活動を皆様にお伝えします。子育て家庭や社会にも発信し、「子育てが楽しいもの」「今」が楽しいもの、未来をつくる子どもたちの「今」が楽しいものであるよう広報します。

大阪の保育は、常に全国をリードしてきた歴史があります。浦野先生、鶴飼先生、武内先生そして多くの先輩諸先生方が常々と築かれた保育士会は、二年後に

の願いもこめられて活動することができています。その重責の任期を迎えること、あたりまえのように留任させていただく居座りようで、各ブロックごとに出ていただいていた常任委



武内茂子 名誉会長

員の皆様様のお声を素直に受けとめ、また支えていただいたことでのたまもの強いです。全国保育士会に出かけても、大阪人の本領発揮に力強い後押しをいただき伸々

50周年を迎えます。培われた伝統を守り、新たな保育士のあり方を求めながら、次の世代に確実にパトロンタツチできること、未来への扉を開けていただけることを心から願います。

「私でよろしいの？」との思いは一向に消えませんが、皆様のご指導とお支えを賜りまして、会長職を一期勤めあげたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

と活動させていただけたことを改めてありがたく御礼申し上げます。毎月の常任委員会も互いに学び合いの時として、保育先進の地大阪の原動力となる保育士が育つたのとはと自負しています。

今後多くの保育士の集いが次代を担う子どもたちのために役立ち、その溢れる笑顔から力をもらい、保育士が声高らかに養護と教育の一体化したすばらしい保育展開を実践することが、未来にはばたく子どもへの育ちに貢献できることを信じてがんばりたいものです。

これからも変らぬ手つなぎをして、大きくはばたく保育士会へと念じています。永い間大切な座を占領していたことを気づき、暖かくお支えいただいたこと、心から御礼申し上げます。

学びをともに！友に！

保育士会総会



19年4月19日、社会福祉指導センターで230人が集い保育士会総会が開催されました。

まず全員で声を揃えて全国保育会の歌「私たちがいるんです」を合唱。歌詞が優しく、保育士としての自覚を深める様な素敵な歌です。

続けて全国保育士会倫理綱領を読みあげました。

参加者全員が同じ意識をもって、今後の保育に取組むことができる、良い機会でした。

開会にあたって武内茂子会長から私たち保育士会は、社会福祉協議会からも保育部会からも認められている、これは幸せなことであると述べられ、続けて今後の方

向性について話されました。一年後の保育指針改正、認定子ども園の行く末を踏まえ、保育士会は大きく変わろうとしています。

今、保育士は何をしないといけないのか、日々心にもって保育しているはずで

倫理綱領よみあげ



す。

「ここに集い、学びを友にして実りある会となることを願います。」とあいさつされました。

武内茂子会長は保育士会会長をご勇退され、今期から名誉会長として保育士会を見守っていただきます。

来賓の方々のあいさつの後、総会議事に入り平成18年度事業報告・収支予算、平成19年度事業計画・予算

が承認されました。続いて役員任期満了に伴う改選にあたり新役員が承認され、新役員を代表して大西潤子新会長から保育士資格、倫理綱領など、これらに武内会長は深く関与されました。

このように、武内会長を筆頭に皆で支え合いながら大阪は全国をリードしてきました。

子どもをめぐる社会的環境の著しい変化の中で、今を楽しく生きていく子どもが全てではありません。そのためにも、保育士会へ出て学びましょう。

私たちは、そのお手伝いをさせていただきます。2年後には、保育士会も50周年を迎えます。

保育士会が次の世代へと引き継がれ、さらなる発展を目指していきましょう。私たち保育士一人ひとり、美しい心で子どもに接したいものです。「美しい心」の保育がなされますよう、願っておりますとあいさつされました。無事第一部総会議事が終

第2部では、名古屋短期大学保育科の小川雄二教授から「保育園における食育とそのすすめ方」のテーマで講演されました。

記念講演

「食育」は「職育」

食を営む力



④食事づくり、準備にかかわる子ども。⑤食べものを話題にする子ども。めざす子ども像につながる食育の実践を簡単に説明すると、①は早寝早起きが一番、それが難しい場合は起床後、朝食までに簡単なお手伝いをする。②は食事の場面・雰囲気大切に、子ども自身が食べのプロセスに楽しいかわりをもつこと。



教授お薦め案は、忙しい時でも短時間のプロセスでできる味見をさせることでした。③は友だちと一緒に食べる楽しさ、園での楽しいひととき、最後「食育」は「職員」思いを家庭へ。研修に参加させていただき、改めて保育士の意識改革が大切であることを感じました。具体的なお話で食育を深められる機会を得ました。



ちが一番望んでいるのは両親との食事。④⑤は、お手伝いの重要性、家事労働の



「お詫び 前号(75号)の「地域とともに ふれあい 彩都保育園になっていきます。お詫びして訂正します。」